



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 株式会社 共立メンテナンス
 コード番号 9616 URL <http://www.kyoritsugroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 充孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 上田 卓味
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5295-7778

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	20,843	△1.8	1,073	7.6	705	3.4	336	—
23年3月期第1四半期	21,216	6.1	997	△23.9	682	△32.5	△28	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 332百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	23.41	19.56
23年3月期第1四半期	△1.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	137,531	30,225	22.0
23年3月期	141,314	30,166	21.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 30,223百万円 23年3月期 30,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,300	1.2	2,580	△9.4	1,780	△18.7	720	14.0	50.12
通期	92,000	8.3	4,850	5.2	3,500	5.8	1,430	35.8	99.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	15,125,582 株	23年3月期	15,125,582 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	760,842 株	23年3月期	760,687 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	14,364,767 株	23年3月期1Q	14,365,350 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災によって未曾有の被害を受け、また福島原発の被災による電力供給不足など懸念される国内問題のみならず、海外事情による円高の押上げ等、今後も厳しい状況が続くものと予想され、個人消費も一層慎重に推移していくものと見込まれます。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間は、特に震災による影響を危惧したものの、主力事業である寮事業において、期初稼働率95.3%（前年比2.4ポイント増）と好調にスタートいたしました。

ホテル事業につきましては、ドーマーイン（ビジネスホテル）事業において、前年同期を上回る稼働率にて推移し、またリゾート（リゾートホテル）事業につきましてもゴールデンウィークを機に大幅に改善いたしました。

以上、当社グループの主力事業である寮事業及びホテル事業は震災による影響の厳しい中で、増収増益基調を堅持いたしました。売上高においては、デベロップメント事業における竣工・引渡しの計上期のズレによる影響で、当第1四半期連結累計期間は減収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高20,843百万円（前年同期比1.8%減）となり、営業利益1,073百万円（前年同期比7.6%増）、経常利益705百万円（前年同期比3.4%増）、四半期純利益336百万円（前年同期に比べ364百万円増益）となりました。

なお、この業績につきましては、当初の計画を上回るペースではありますが、経済情勢が不透明なため、業績予想は変更しておりません。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①寮事業

寮事業では、震災による被災地からの学生様の入寮キャンセル等の影響があったものの、期初稼働率95.3%（前年比2.4ポイント増）と好調にスタートいたしました。また、前年同期に比べ大口の留学生法人契約もあり、契約金等の売上が増加しております。この結果、寮事業全体での6月末現在の稼働契約数は29,205名（前年同期に比べ1,032名増）となり、売上高10,640百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益1,842百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

②ホテル事業

ホテル事業のうちドーマーイン事業では、当第1四半期連結累計期間に『天然温泉 富嶽の湯 ドーマーイン三島』『天然温泉 白鷺の湯 ドーマーイン姫路』の2事業所を新規オープンした他、既存事業所の復興需要等の影響もあり、前年同期を上回る稼働率にて推移し大きな牽引役となりました。また、リゾート事業では、震災による自粛等の影響があったものの、きめ細かな営業推進が功を奏し、ゴールデンウィークを機に大幅に改善いたしました。この結果、売上高7,034百万円（前年同期比4.7%増）、営業損失292百万円（前年同期に比べ161百万円増益）となり、本格的なリゾートシーズンを前に大幅な増益となりました。

③総合ビルマネジメント事業

総合ビルマネジメント事業では、前期以前に大口解約のあったビル賃貸部門につきましては、稼働率は回復に向かっていますが、賃料低下等により収益面での本格的な回復には至りませんでした。この結果、売上高2,896百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益2百万円（前年同期に比べ32百万円増益）となりました。

④フーズ事業

フーズ事業では、個人消費環境の悪化等により厳しい事業環境が継続しております。この結果、売上高979百万円（前年同期比3.3%増）、営業損失35百万円（前年同期に比べ11百万円減益）となりました。

⑤デベロップメント事業

デベロップメント事業では、開発物件が下半期に傾斜したことに伴い前年同期に比べ、当第1四半期連結累計期間では、竣工・引渡しが減少いたしました。この結果、売上高は1,192百万円（前年同期比28.2%減）となり、営業利益は22百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

⑥その他事業

その他事業は、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業であります。

これらの事業の合計は、売上高923百万円（前年同期比14.2%減）、営業損失53百万円（前年同期に比べ92百万円減益）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、137,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,782百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金、有形固定資産の減少などによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、107,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,841百万円の減少となりました。主な要因は、前受金、長期借入金の減少などによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、30,225百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

この結果、自己資本比率は22.0%となり、前連結会計年度末に比べ0.7ポイントの増加となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,855	24,852
受取手形及び売掛金	2,832	3,068
販売用不動産	1,081	1,254
未成工事支出金	235	563
その他	4,811	4,714
貸倒引当金	△32	△32
流動資産合計	36,783	34,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,327	30,713
土地	24,454	24,482
その他(純額)	16,504	14,105
有形固定資産合計	71,285	69,302
無形固定資産		
	3,785	3,815
投資その他の資産		
投資有価証券	5,783	5,854
差入保証金	8,948	9,213
敷金	7,787	7,943
その他	7,007	7,054
貸倒引当金	△169	△168
投資その他の資産合計	29,357	29,897
固定資産合計	104,428	103,014
繰延資産	101	96
資産合計	141,314	137,531

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,609	2,045
短期借入金	17,945	19,513
1年内償還予定の社債	11,640	11,640
未払法人税等	955	408
前受金	10,975	9,581
賞与引当金	581	173
役員賞与引当金	128	28
完成工事補償引当金	12	11
工事損失引当金	4	4
その他	5,694	5,900
流動負債合計	50,546	49,306
固定負債		
社債	7,745	7,395
長期借入金	45,701	43,519
退職給付引当金	1,223	1,233
役員退職慰労引当金	313	310
その他	5,616	5,541
固定負債合計	60,600	57,999
負債合計	111,147	107,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,136	5,136
資本剰余金	5,943	5,943
利益剰余金	21,211	21,274
自己株式	△1,470	△1,471
株主資本合計	30,820	30,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△655	△659
その他の包括利益累計額合計	△655	△659
少数株主持分	1	1
純資産合計	30,166	30,225
負債純資産合計	141,314	137,531

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）
売上高	21,216	20,843
売上原価	17,513	16,903
売上総利益	3,703	3,940
販売費及び一般管理費	2,705	2,867
営業利益	997	1,073
営業外収益		
受取利息	23	28
受取配当金	18	17
解約保証金収入	23	15
その他	78	36
営業外収益合計	144	98
営業外費用		
支払利息	347	368
その他	111	98
営業外費用合計	459	466
経常利益	682	705
特別利益		
保険解約返戻金	40	—
固定資産売却益	—	124
貸倒引当金戻入額	19	—
その他	8	—
特別利益合計	68	124
特別損失		
災害による損失	—	56
投資有価証券評価損	52	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	696	—
その他	21	—
特別損失合計	770	59
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△19	770
法人税等	△7	433
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△11	336
少数株主利益	16	0
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△28	336

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△11	336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△4
その他の包括利益合計	13	△4
四半期包括利益	1	332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14	332
少数株主に係る四半期包括利益	16	0

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,470	6,704	1,739	324	1,285	20,524	692	21,216	—	21,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	15	951	624	376	1,995	384	2,379	△2,379	—
計	10,497	6,719	2,690	949	1,661	22,519	1,076	23,595	△2,379	21,216
セグメント利益 又は損失(△)	1,723	△454	△29	△24	29	1,243	38	1,282	△284	997

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、不動産賃貸借物件の仲介斡旋・管理事業、单身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、総合広告代理店事業、その他の付帯事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△284百万円には、セグメント間取引消去56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△341百万円が含まれております。全社費用は主に本社の財務経理部等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,609	7,012	1,785	331	274	20,014	829	20,843	—	20,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	21	1,111	648	917	2,729	94	2,823	△2,823	—
計	10,640	7,034	2,896	979	1,192	22,743	923	23,667	△2,823	20,843
セグメント利益 又は損失（△）	1,842	△292	2	△35	22	1,538	△53	1,485	△412	1,073

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、その他の付帯事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△412百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△412百万円が含まれております。全社費用は主に本社の財務経理部等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。